

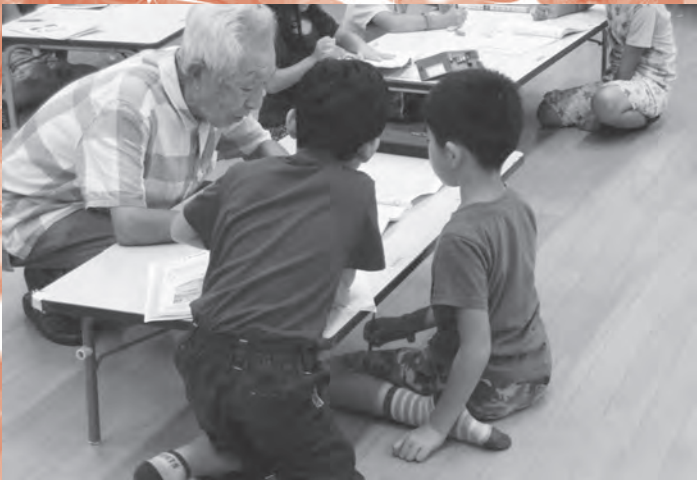
ナカノの

シルバー

No.133
2017.10.31

公益社団法人 中野区シルバー人材センター
編集：広報委員会
〒164-0011 中野区中央2-22-10-101
電話 3366-7971 FAX 3366-7998
ホームページ <http://www.nakano-sjc.or.jp>

★シルバーは楽しい仕事と仲間づくり ★蓄えし、力を社会に役立たせ



学習支援ボランティア活動



中野にぎわいフェスタ2017



南部ブロック共同企画「シルバー派遣を学ぶ」

目次

- ・家事援助懇談会(子育て・調理)に参加して……………2
- ・学習支援ボランティア活動……………3
- ・障子・襖張り講習会が開催されました……………3
- ・シルバーパスと更新業務について……………3
- ・南部ブロック共同企画研修会を開催して……………4
- ・シルバーリング……………4～5
- ・コーラス「花の会」メンバー募集……………5
- ・安全管理委員会より……………6
- ・会費のお支払いについて……………6
- ・9月事業実施状況・配分金振込日……………7
- ・理事会開催状況……………7
- ・あとがき……………7
- ・「中野にぎわいフェスタ2017」に出掛けてみましたか?……………8

先日、家事援助の内容に特化した就業会員懇談会を開催しました。8月22日には子育てのテーマで15名の会員、9月21日には調理のテーマで24名の会員にご参加いただき、就業内容や作業の難しさ・悩み・嬉しかったことなどをお話ししてもらいました。同じ作業をしているからこそ分かち合える、そんな中身の濃い懇談会となりました。

また、調理就業会員懇談会の前に行われた中野区栄養士会の2名の管理栄養士さんによる「家事援助お役立ち講座」は、仕事にも実生活にも役立つお話で大変参考になりました。

家事援助(子育て)就業会員懇談会に参加して

上鷲宮班 穂積 暁

8月22日(火)午後、今夏の長雨を象徴するような雨の中、『家事援助(子育て)就業会員懇談会』に参加しました。

参加者は、お子さんの送迎や見守りのお仕事をしている方々で、これから就業する方、始めたばかりの方、就業期間2年以上の方など15名でした。

塾に行きたくないお子さんに、「塾に行つて自分の責任で欠席することを先生にお話しなさい」と、子どもの気持ちを読み取った機知に富んだ対応や、スマホで子どもの写真を随時送つて、お母様方への思いやりのあるコミュニケーションを取るなど、就業体験がいろいろ話され、ご自身の経験を就業に生かしたお話を聞くことができ、とても参考になる懇談会でした。

中野区という地域社会を大きな『家族』と見立てるならば、就業会員の皆さんは良き「ばあば」「じいじ」の役割を果たしているのではないかとさえ感じました。

地域支え合いの重要性は今後ますます増えていき、子育てに限らずあらゆる分野での関わりが必要が出てきて、シルバー人材センターの関わる機会が多くなつてくるとのお話もありました。

現在4歳男児の送迎をしています。が、今後自分のできる事を出来る範囲でお手伝いできたらと思っています。



家事援助(調理)就業会員懇談会に参加して

南中野班 大熊 久子



9月21日(木)、家事援助調理就業会員懇談会がシルバー本部で行われました。調理、家事に関心のある人達が

参加しました。栄養士さんからは、食中毒の話や調理に使う器具などの細菌をやつつけるポイントを学び、ポリ袋で作る料理は簡単にできるので、皆さん一生懸命聞いていました。

その後、4グループに分かれ、自己紹介・意見交換をしました。私のグループには、シルバーの仕事は15年と長く活躍している人から、3ヶ月とガンバっている人とまぢまちでした。5人家族の食事作りの苦労話から、家族が飼っているペットが慣

れて足にまとわりついてうれしい!と次から次へと話が尽きませんでした。

最後に、調理する上での注意など、とても大切な事を学び、管理栄養士さんが作ってきてくださった「ポリ袋クッキング」のサバの味噌煮や豆乳スープなどを試食させていただきました。家に帰り早速、サバの味噌煮をポリ袋に入れて作ってみました。煮崩れしないし、見た目とても綺麗でした。皆さんも試してみてください。

研修や懇談会は、自分のために大変勉強になります。参加してよかったです。



ポリ袋を使った簡単!時短調理

〈ポリ袋クッキングの基本手順〉

- ①ポリ袋に具材と調味料を入れる。
- ②空気を入れて口をひねり、よく振る。
- ③ポウルに水をはり水圧で袋の中の空気を抜き口をねじる。
- ④ねじった口は、上の方でしぼる。
- ⑤鍋底に皿などを敷きポリ袋が破れるのを防ぐ。お湯の量は鍋の2/3くらい。
- ⑥一度沸騰させたら弱火にし、ふたはしないで決められた時間入れておく。

*肉、魚は熱湯をくぐらせてからポリ袋にいれるとよい。

〈さばの味噌煮 2人分〉

- さばの切り身 2切れ
- 生姜 2片
- 味噌 大さじ1/2
- しょうゆ 小さじ1
- 砂糖 小さじ1
- 片栗粉 小さじ1/3

加熱 15分

平成29年度 学習支援ボランティア活動

毎年、中野区シルバー人材センターでは小学校の夏休み中に学習教室担当会員のご協力により、『夏休み学習教室』をボランティア活動として実施しています。

今年も、8月14日(月)と15日(火)にキッズ・プラザ武蔵台(中野区上鷲宮 武蔵台小学校内)で4名の会員の方々にご協力いただき開催しました。

こちらの施設は、校庭の南側にあり、自主的に学習をするスペースが設けられ、『集まる児童が遊び育つ』を目標に運営されています。学習室内では夏休みに学校から出された宿題や課題に一生懸命取り組む子供たちの姿があり、そこでシルバーの学習教室担当会員の方々が学習支援ボランティアを行いました。先生である会員は、あっちこっちと移動しながら指導にあたるため大忙しですが、子供たちの笑顔に元気ももらい熱心に活動しました。

今回の活動にご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

(事務局)



2017年度 障子・襖張り講習会が開催されました!

8月21日(月)、シルバー本部の会議室で障子・襖張り講習会が開催されました。今回は会員・一般区民あわせて計13名の方が参加され、表具班会員の直接指導の下、実際に張替を体験していただきました。



参加者のこえ

物の大切さを実感。
和家具・建具の素晴らしさを実感。

先生も受講生も良い方ばかりで
楽しい講習会でした。

実際に複数回自分たちでもやってみることが出来たので、作業を少しでも覚える事が出来たと思うので良かったです。自宅でも挑戦したいと思います。

シルバーパスと更新業務について



シルバーパスとは?

シルバーパスとは、満70歳以上の都民で希望される方に発行している、都営交通(都バス、都営地下鉄、都電、日暮里・舎人ライナー)と都内の民営バスに乗車できる「東京都シルバーパス」というパス券です。東京都シルバーパス事業は、70歳以上の都民の皆様の積極的な社会参加を支援するために、東京都の支援のもと、一般社団法人東京バス協会が実施している事業です。



中野区シルバー人材センターでは、年1回のシルバーパス更新業務のお仕事をお受けしており、更新会場での書類審査や誘導など、様々な業務で会員の方々が活躍されています。本年度は、113名の会員が更新業務に就業されました。来年度も受託する予定となっておりますので、その際にご案内をいたします。



本年度就業された皆様、ありがとうございました!

南部ブロック共同企画

第1弾
教育

「シルバー派遣事業を学ぶ」を 開催して

鍋横班 後藤 義光



南部ブロック共同企画の第1弾・教育として、9月20日(水)午後1時30分から、鍋横区民活動センター洋室にて、「シルバー派遣事業を学ぶ」をテーマに研修会を開催しました。

講師には、3月までセンターの事務局長として活躍され、この4月から派遣事業を担当されている服部敏信さんにお話ししました。

当日は、南部ブロック(南中野班、桃園班及び鍋横班)の3班の会員をはじめ、他班からの出席者を含め約40名余が受講されました。

まず、前半の第1部では、会員の皆さんに配付されている「シルバーなかの」のバックナンバー(129号、130号、132号)の掲載内容を振り返りながら、派遣事業について順序良く説明していただきました。

129号(平成28年10月発行)に関連しては、東京都における試行事業の取組みの説明のほか、会員の確保と多様な働く機会を提供することをめざした当センター理事会での協議・検討経過について説明がありました。

130号(平成29年1月発行)に関連しては、派遣事業と請負の違い、今後の課題の説明のほか、センター独自に派遣事業を開始することは、法令上困難であり、理事会としては、東京しごと財団による派遣事業の仕組みに参画し、派遣事業を開始することはやむを得ないと判断した旨の説明がありました。

132号(平成29年7月発行)に関連し

ては、本年4月から派遣事業の第一号となる東部区民活動センター運営委員会への派遣事業に関し、当初懸念されていた受付事務について、大きなトラブルもなく引継ぎが行われたこと、また、会員による地域支援業務についても、着実に評価され始めているとの、明るい話題も出されました。

後半の第2部では、派遣事業計画のエッセンスについて、資料に基づき説明していただきました。

派遣事業が、会員の知識や経験等を生かし、これまでの請負の枠組みに加え、会員の皆さんに多様な就業機会を提供するため、いろいろな課題・難題を抱えながらも、着実な事業の定着をめざし、5か年間に想定される具体的な取組みを推進していきたいとの心強いお話しに、センターの意気込みや姿勢が感じられました。

以上、「シルバー派遣事業を学ぶ」と題し、派遣事業に関する理事会を中心とした協議経過、事業の仕組みやさまざまな課題等について、講師が事務局長の経験を生かし、わかりやすくお話をしていただいたことが印象的でした。

最後に、出席された会員から、派遣事業に関し、会員確保に向けたPRの必要性、他の運営委員会の動き、選挙事務の可能性などについて質疑応答が行われ、南部ブロック共同企画第1弾の研修会は終了しました。

なお、研修会に出席された会員に、受講者アンケートを実施したところ、大方の出席者から、「派遣事業について学ぶことができてよかった」との回答がありました。また、派遣事業が就業拡大に期待できるか、会員の確保に期待できるかについては、半数以上の出席者から「どちらともいえない」との回答がありました。



直面して初めて知った人の支えの尊さ

江古田班 渡邊 昭子

シルバー人材センターに在籍し、10年が過ぎ、後期高齢者の仲間入りとなりました。(10・75) 私の人生の節目かな?と、数字にちよつとしたこだわりを抱きながら、作事中、股関節に違和感を覚えても、加齢に伴う仕業かな?と軽くあしらひ、家事援助サービス・広報紙配布などの仕事を続けて来ました。

ところが、股関節の痛みが徐々に増し、杖の力を借りないと歩行が困難な状況に追いやられてしまったのです。今までできていた仕事は、断念!体力の衰えが来ることは覚悟はしていたものの、寂しさは心を重くしました。

「すり減った軟骨は、再生できません。自分の足で歩き続けたいなら、人工関節置換手術を勧めます。」
「手術に賭けよう!」
手術後3日間苦しんだ腰痛との闘いは、今なお忘れられない辛い経験として脳裏に深く刻みこまれていますが、回復は順調に進み、手術後3週間で無事に退院できました。

手術後の最大の課題は、「脱臼と転倒の回避」でした。人工関節が入った足は、前後左右ほとんど曲げられませんが、室内でも杖なしでは移動できず、

家事労働は大きな壁に突き当たりました。退院の喜びも束の間、はてさてどうしよう!シルバー仲間の先輩にSOS。「地域包括支援センターに相談してみよう」とのアドバイス。

数日後、社会福祉士さん、介護支援相談員さん、福祉用具専門員さんの皆さんと一緒に来訪していただき、各々の立場での適切な支援に、安心感にすつぽり包まれ、要支援1を認定していただきました。ベッド・シャワーベ

ンチ・トイレ用フレームなどの貸与は、脱臼・転倒防止に大活躍中です。
家事援助は、シルバー人材センター訪問活動事業サービスを利用していただき、週1時間・月4回・80歳代の元気なシルバー会員さんが、掃除買い物をしてくださいます。

「自分の足で歩きたい!」
人工関節の入った足を自分の身体にいかになじませるか!リハビリを頑張れる自分がそこにいない限り、希望は達成できません。
希望ばかりを広げる自分のわがままを、多方面で温かく見守り支えて下さった方々へ「自分の力で歩ける足を見ただけの日が来ることを実感する昨今です。」



研修に参加できる喜び

鍋横班 田中 正彦

シルバーの会員になって各種研修に参加することができ、時に大変な喜びを感じることもある。

中でもシルバー人材センターの研究に力を入れ、全国のシルバー人材センターの役員向けに年一回開催してくれる野村総研のNRIセミナーには、時間の許す限り参加するように努めている。

振り返ると昨年の第14回NRIセミナーの内容は、今でも強烈な印象を残してくれている。タイトルは、企業イノベーション「1000人の革新者・社会課題への挑戦」と、少し硬いタイトルではあったが内容はこれまでの中で、非常にわかりやすく参考になった。了解をいただきICレコーダに録音し、その後数日間、散歩するたびにイヤホンをつけて何回も何回も聞いている。その中で従来のビジネスモデルとは違った発想、切り口で素晴らしい成果を挙げた革新者のうち、3人の方の方法が今でも鮮明に残っている。

第1は、市の人口構成を変えた流山市井崎市長の話。『母になるなら流山』というキャッチフレーズを作り、託児所や保育園を倍々で増やし、都内

に住む2〜3人の子を持つ共働き夫婦を対象に「流山に来てください」運動を展開した。成果は人口増16%、30〜40代の若い層が移り住み、人口構造を変えた。

第2は、沖縄の『キングコング』という居酒屋の話。4店舗の売り上げが全盛期の3分の1まで下がり、倒産の危機になりコスト削減の状態に直面した。砂川という部長が実行したのが従業員対策で、80名の従業員の10名以上を精神障害者とした。障害者に餃子の作り方を指導すると、すべて寸分違わない餃子を作る能力を発揮して働く。それを見た健常者の働く意識が変わり、会議にも全員が出席し、店の業績がV字回復した。

第3に、客のニーズを探して対応するのはどの企業も行う手法。そうではなく客のウォントを探す手法で成功した田舎の本屋、北海道砂川市のいわた書店の話。書籍ならネット通販の世界のトップ「Amazon」(ユーザーの好みの書籍を販売するニーズの手法)に勝てる訳がないが、田舎の本屋がウォンツの手法で大成功している。手法は、ユーザーに1万円を用意してもらい、事前に選書カルテに本人の最近読

んでいる本や自分の職歴、家族の状況等々を記載して提出する。岩田さんはそれを見てその人に相応しい、その人には読んでもらいたいという本を何日もかけて考え、その金額分の書籍を用意する。1万円選書は1回目注文待ち666人、2回目は1,700人が購入待ちとのこと。

この3例で、わがシルバーでもこういう発想ができないかということを感じている。例えば、『高齢者、働くなら中野シルバー』のようなキャッチフレーズを作り宣伝するとともに、シルバーの仕事内容を区民に今以上に知ってもらう手法を考えねばならない。

中野シルバーの会員が請け負った仕事は、「こんなに素晴らしい」出来栄の宣伝方法。

区民のニーズには、ある程度対応できると思っているが、まだまだシルバー人材の長所を活かしきっていない部分も多く、待ちではなく積極的に仕事を提案していく提案型戦略等の必要性も考えさせられる。

メンバー募集!!

いっしょに歌いましょう。

SCコーラス『花の会』

加生 澄雄先生のご指導のもと、女性会員十数名が元気に楽しく活動しています。平均年齢は77歳。練習時はメンバーの会員がピアノ伴奏をしています。シルバー人材センター主催の「シルバーまつり」にも毎年出演し、元気な女性会員の歌声を皆さんにお届けしています。

コーラスに興味のある方、「シルバーまつり」と一緒に参加したい方など、一緒に活動して下さる方を募集しています。

お気軽に右記までお問い合わせください。
お電話お待ちしております。

- 練習日：月に2〜3回(不定期)
- 練習場所：新井区民活動センター
- 練習時間：午後1時30分〜午後3時
- 会費：月1,000円

お問い合わせ先(世話人)

- 長谷川 乃布子 (☎:03-3337-1577)
- 澤井 喬子 (☎:03-3385-2636)
- 山崎 信恵 (☎:03-5373-3528)

平成29年度上半期事故発生状況一覧

中野区シルバー人材センターでは、今年度上半期（4月1日～9月30日現在）、傷害事故5件・賠償事故4件の合計9件の事故が発生しております。

平成27年度上半期は傷害事故7件・賠償事故4件の合計11件で、平成28年度上半期は傷害事故5件・賠償事故3件の合計8件でしたので、減少傾向にあった件数が昨年度に比べると1件増加しております。

シルバー人材センターの就業では「安全は全てに優先する」という意識が一番大切です。以下の事故事例を他人事と考えず、皆さまで一人ひとりが安全について考え、意識していただき、引き続き安全就業にご協力をお願い致します。

傷害事故						
No	発生日	年齢	性別	状況	就業中途上区分	
1	7月20日	76	女	発注者宅での家事援助の作業中、洗濯物の片づけを終えて、台所の片づけに移動する際に、フローリングの上に置かれた衣類の上に右足がかかり、滑って、左腿から床に落ち強打。そのまま動けなくなった。1時間半ほど経過し、発注者のご家族が気が付き救急搬送された。	就業先	
2	7月13日	73	男	研修の受講中、高さ2～3メートルの木に登り、指し丸太に足を置き、枝切りを行っていたところ、足元の指し丸太が折れ、落下した。安全ベルトが作用し、1.5メートル辺りのところで、宙づりになった際、足を打撲した。	その他	
3	9月2日	67	女	アパートの階段下の地面の窪みに左足が入ってしまい、バランスを崩して転倒。左足を挫いて、右ひざに軽い擦り傷を負った。	就業先	
4	8月18日	90	女	作業室にあるトイレから移動する際、床につまずき転倒した。その後痛みがあったため、タクシーで帰宅後まったく連絡が取れず、1か月以上状況が分からなかったが、10月2日、本人より入院中にてリハビリ療養している連絡が入った。	就業先	
5	9月11日	77	男	早稲田通りを西から東へ自転車で走行中、中野五丁目の交差点で柳通りへ入ろうと左折する際に青信号であることから横断歩道内に侵入したところ、早稲田通り東側から西側に直進してきた自転車も横断歩道に侵入して来た為、回避しようとして自転車のバランスを崩し左側に転倒。	道路上	

賠償事故						
No	発生日	年齢	性別	状況	就業中途上区分	
1	4月6日	84	男	植木の手入れ中、残材片付けのために庭側に出ようとしたところ、散水栓ふたがずれていることに気付かず足をかけてしまい、ふたがずれ落ちてしまった。その際に蛇口の頭部分を押しかけてしまい地面下10センチほどの部分の塩ビ管にヒビが入り破損してしまった。	就業先	
2	6月15日	77	男	会員が発注者宅で網戸の張替作業をして、張り替え終わった網戸フレームを発注者宅2階の出窓の窓枠に屋内からはめ込もうとしたところ、手を滑らせ2階から網戸フレームが落下し、地面に落ちた衝撃で網戸フレームが損傷。	就業先	
3	6月21日	68	男	運動場電動式防球ネットを閉鎖するため、操作盤のボタンを押したところ、支柱上部にある防災ライトにネットが絡まり引っ張られた圧力で真ん中部分が破れてしまった。	就業先	
4	8月11日	78	男	照明器具のかさを清掃する為脚立を使用して作業していたが、3個目の作業中にバランスを崩して倒れてしまい、雪見障子のガラスを割ってしまった。	就業先	

会費のお支払いはお済みですか？

平成29年度会費(2,000円)のお支払期限は、平成29年9月30日です。すでにお支払期限を経過しておりますので、まだ会費をお支払いいただいている方は、お送りしてある専用の郵便振込用紙をお使いいただき、お近くの郵便局にて早急にお支払いをお願いします。

なお、振込用紙を紛失された場合や、お支払いされたかどうかわからない場合は、事務局本部までお問い合わせください。

☎ 03-3366-7971

平成29年 9月事業実施状況

会員登録人数 (9月30日現在)	
女性	572名
男性	953名
合計	1,525名

9月入退会者		
	入会者	退会者
女性	8名	4名
男性	5名	6名
合計	13名	10名

9月就業人数		就業率
女性	415名	72.6%
男性	660名	69.3%
合計	1,075名	70.5%

9月受託件数・契約金額		
公共	37件	23,652,131円
企業	459件	18,768,788円
家庭	933件	14,129,108円
自主事業	13件	1,859,734円
合計	1,442件	58,409,761円

平成29年度 配分金振込日

就業月	配分金振込日
平成29年 10月就業分	11月16日(木)
11月就業分	12月18日(月)
12月就業分	平成30年 1月16日(火)
平成30年 1月就業分	2月16日(金)
2月就業分	3月16日(金)

理事会開催状況

【平成29年度第4回】平成29年6月21日(水)午後3時15分より「なかのZERO」にて開催

- 1 議決事項
(1) 役員を選任について
◇右記の案件について審議し、承認を得て終了した。

【平成29年度第5回】平成29年6月22日(木)午前10時より本部にて開催

- 1 議決事項
(1) 平成29年6月入会者の承認について
(2) 個人情報保護に関する規程の改正(案)について
- 2 協議事項
(1) 専任部及び委員会の構成メンバー(平成29年6月)について

- 3 報告事項
(1) 平成29年5月退会者について
(2) 平成29年5月事業実施状況報告
(3) 第4期理事・監事・事務局長名簿について
(4) 平成29年度理事会開催予定について
(5) 入会登録説明会の担当理事について
(6) 「なかのまちめぐり博覧会2017」への広告協賛について
(7) 月間予定表(平成29年7月分)

- 4 その他
◇右記の案件について審議・報告し、全て承認・了承を得て終了した。

【平成29年度第6回】平成29年7月27日(木)午前10時より本部にて開催

- 1 議決事項
(1) 平成29年7月入会者の承認について
(2) 専門部の見直し(案)について
(3) 「専門部及び委員会設置規程」の改正(案)について
- 2 報告事項
(1) 平成29年6月退会者について
(2) 平成29年6月事業実施状況報告
(3) 東京都公益法人担当による立入り検査について
(4) 「第7回シルバーまつり」について
(5) 「中野にぎわいフェスタ2017」への参加について
(6) 月間予定表(平成29年8月分)

- 3 その他
◇右記の案件について審議・協議・報告し、全て承認・了承を得て終了した。

【平成29年度第7回】平成29年8月24日(木)午前9時30分より本部にて開催

- 1 議決事項
(1) 平成29年8月入会者の承認について
- 2 報告事項
(1) 平成29年7月退会者について
(2) 平成29年7月事業実施状況報告
(3) 中野区役所庁舎1階ロビーにおけるシルバー人材センターのPR展示について
(4) 月間予定表(平成29年9月分)

- 3 その他
◇右記の案件について審議・協議・報告し、全て承認・了承を得て終了した。



区境いに二つの自転車置き場がある。

お互い、それぞれのシルバー人材センターが管理している。

ある時、他区の自転車置き場に入れてみた。わざとではなく、自転車が倒れてしまった。知らん顔。思わず「助けてよ」と言いそうになった。

またある時、中野区の自転車置き場に入れた。「いっぱいだけど、ここ整理すれば入るから、やっておくよ。どうぞ行ってらっしゃい」

帰ってみると、その通り、狭いスペースをきれいに使って、置かれていた。

思わず「ありがとう」と声をかけた。手をちよつと挙げて応えてくれた。

とっさに出る言葉は真実を物語る。地下鉄東西線落合駅前のおはなし。。。

小野 光

「中野にぎわいフェスタ2017」に出掛けてみましたか？ — チンドン屋さんに笑顔をいただき！ —

江古田班 渡邊昭子

10月7日(土)・8日(日)に、区役所正面玄関前・サンプラザ前広場・四季の森公園等で開催された「中野にぎわいフェスタ2017」に、当センターもPRを兼ねて理事・地域班長・会員のみなさんと共に参加しました。

シルバー人材センターは、区役所正面玄関前の会場で、リサイクル自転車の販売(両日)・輪投げゲーム(7日)・指が抜けなくなるという沖縄のおもちゃ「かみつきヘビ」の実演



や牛乳パックを利用したコマ作り(8日)を行いました。また、今年も強力な助っ人として「チンドン屋さん」(表紙写真参照)にお越しいただき、彼らが奏でる軽やかな演奏に誘われ、たくさんのお客様が足を運んでくださいました。

輪投げゲームでは、歓声をあげて喜ぶ親子の姿に元気をもらい、かみつきヘビやコマ作りでは、ママと一緒に指先を懸命に動かしているお子さんの姿など心とむ光景に出会えました。



四季の森公園付近では、理事・地域班長のみなさんが、センターのPRチラシとティッシュのセットを手渡し、会員募集と仕事の依頼を呼び掛けていました。「お手伝いさせていただけたら、ここの番号にお電話くださいね」との呼びかけにも心地よい反応が！乞うご期待かな？

理事・班長のみなさん、当日ご協力いただいた会員のみなさん
かみつきヘビの下準備でご協力いただいた江古田班有志のみなさん

お疲れ様でした！

●チンドン屋さんの演奏に合わせて、リズムカルにダンスしながら楽しんでいる方に出会い、私の心も弾みました。

●輪投げゲームに歓声をあげて楽しんでいる親子から、元気パワーをもらいました。また、アンケートにも快く応じてくれて嬉しかったです。

参加者からの声

●セット袋を即座に開封して、「こういう仕事が好きなんだ！」「この電話番号にお電話ください。お仲間になりましょう！」心通わず会話が出来ました。

●「私会員です。施設でお仕事をしています。『シルバーなかの』読んでいますよ！」「ありがとう！」仲間同士の会話にほっこり気分を味わいました。